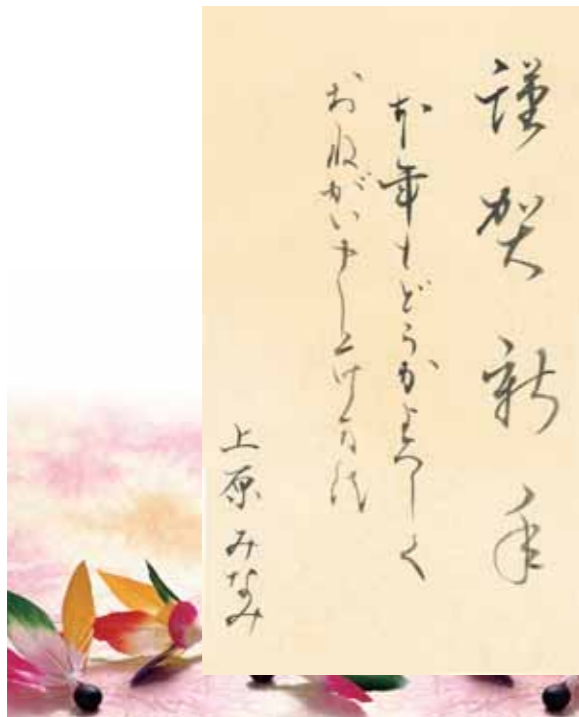


みなみかぜ通信 vol.3

Communicate with...

みんなの党神戸市議員団 2012年1月9日発行

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館26F TEL 078-322-6361 FAX 078-322-6128 携帯 080-6150-0373



新しい年を迎え、希望に満ちたお正月をお過ごしになったこと存じます。昨年は、東日本震災、原発被害をはじめ、日本にとっては試練の年でした。市民の皆さんからも、今なお安心できない放射性物質の影響について、よく相談を受けます。神戸市では、新たにゲルマニウム半導体検出器を配備し、今年1〜3月の期間、神戸市中央卸売市場において、17都県産の農作物・水産物を中心に、毎週1回、4検体(20検体/月)の抜き取り検査を行う方針です。その内、小学校給食に關しては、1週間分をまとめて1検体として、教育委員会が主体となり検査をすることです。神戸市で流通する食材の中で、中央卸売市場を通るのは1/2、出荷時に検査を経て市内に入ってくるものが前提ですが、実施しても抜き取り検査ですから、私たちが出来ることは、買ってきた食品をよく洗って食べることでしょうか。1検体の検査に2時間、6千円〜1万円のコストが掛かるそうです。

今回の市政報告「みなみかぜ」は、第4回定例市会において、みんなの党が代表質疑をした中学校給食実施に向けた調査結果の報告、私が取り組んでいる環境局問題を掲載いたします。皆さんからご意見を賜り、議員活動に役立てさせていただきますので、今後も市政について、お気軽にお問合せください。議員になると、年賀状が出せないというおかしな決まりがありますので、この紙面にて新年のご挨拶をさせていただきます。

環境局問題を考える

神戸

戸市環境局北事業所で、勤務時間内に野球をしていた問題。神戸市は、職務専念義務違反を認めている職員18人、疑いのある職員5人、否定している職員8人という31職員に対する聴取結果を報告しました(12/19福祉環境常任委員会)。この結果をもとに、今後は行財政局で処分が確定しますが、これは野球をしていた職員だけの問題ではありません。勤

2011.11.23 (朝日新聞)

勤務中キャッチボール 常態化?

神戸市は22日、北区のごみ収集を担う市環境局北事業所の職員約130人のうち少なくとも22人が、勤務時間中に敷地内でキャッチボールやノックをしていたと発表した。所長も半ば黙認し、常態化していたという。矢田立郎市長は22日の会見で「言語道断で厳罰が必要。市民に申し訳ない」と話し、他の事業所でも調査を進める考えを示した。

環境局庶務課によると、今月11日に、「職員らが敷地内でよくキャッチボールやノック、ゴルフの素振りをしている」という匿名の通報が同局に寄せられた。職員に確認したところ、22人が

神戸市環境局 市長「言語道断」、調査へ

務中に本格的な野球の練習が出来るほど、勤務時間が余っている。つまり、勤務時間と実働時間が合っていないにも関わらず、改善しようとなかった神戸市環境局全体の問題です。取り上げられた北事業所だけでなく、全区の事業所で、ごみ収集作業が午後2時前後に終わりますので、実働約5時間。残りの3時間を環境局は「待機時間」と言いますが、この待機時間に不法投棄で出動した収集車は、H22年度全事業所で475台、年間稼働日で割ると一日2台、9事業所中7事業所では、「待機時間」といながらも、「緊急出動なし」なのです。今回発覚した野球の練習および終業5分前には自家用車に乗り込み、チャイムが鳴るのを門の前で待つ職員の様子を指摘した私の質問に対し、環境局長は、「人員にはかなり余力がある」と答えました。ではなぜ、今年度28人も新規採用をしたのか?

来年度からの退職者不補充を求めると、「いずれ報告させてもらいます」との答弁。今後は、待機車両を各事業所で2台とし、その他の職員は、清掃活動やキャンドル作り講習などをするとのことですが、無理に仕事をつくるのではなく、一日4〜5時間のパートタイム勤務の民間委託に切り替えるべきです。そしてもう一つ指摘したいのが、環境局の事業所では、これほど時間を持たせているにも関わらず、局全体の時間外勤務手当が年間11億円以上もあります。祝日出勤が時間外勤務とされ、時給×1.35倍として、一人当たり31万円/年も支給していることが一因です。神戸市では、環境局の清掃現場を「振替困難職場」としていますが、大阪市では「振替困難職場ではない」とし、祝日出勤の70%を平日の休暇取得で振り替えています。神戸市でも導入すれば、時間外勤務を約4億円削減することが出来ます。これについても「行財政局と相談する」との答弁でしたので、改善されるように一緒に見守ってください。

上原みなみ

みんなの党 神戸市議員 福祉環境常任委員会委員

◎NPO法人「北区に住んでいるって大声で言い隊」理事長
◎気象予報士・環境再生医・書道師範

1969年3月16日神戸市兵庫区生まれ、現在北区緑町在住。夢野小、夢野中、鈴蘭台高、神戸大学卒。サンテレビでのお天気キャスター、夕刊フジでの連載コラム執筆、J-COMキャスターを経て、2011年統一地方選挙で6033票頂き、神戸市議員(北区)となる。

上原みなみ 検索

中学校給食について

多くの中学生の保護者から希望の多い中学校給食の実施。

「愛情弁当」は、子どもの好みや体調に合わせて内容・分量を調節できるといふ素晴らしい親子のコミュニケーションです。しかし一方で、働き家庭、父子・母子家庭の増加などにより、毎日弁当を持参できず、

必要とする食事や栄養を充分に与えられない子どもがいることも、無視できない問題です。そして、自分

だけ販売弁当を購入することには抵抗がある生徒の気持ちにも配慮すべきと思います。家庭の状況に問わず、すべての子どもに等しく心身の健全な発達、学力や体力、将来にわたる正しい食習慣の形成を保障することは、学校教育、特に義務

教育における基本的な責務です。現在約8割の都市で中学校給食

が実施される中、神戸市でもやっと検討会設立の方針を示し、早ければH25年度に実現する可能性も出てきました。みんなの党神戸市会議員団は、民間活力による中学校給食実施を提案した独自調査に基づく提言書を、教育委員会に提出します。

みんなの党神戸市会議員

団は、11月14日～25日にかけて市内の中学生の保護者を対象に、独自で作成したアンケート調査を行い、288の回答(有効回答数279)を得ました。その結果、約9割の保護者が中学校給食実施を希望しており、その一番の理由は、手作り弁当の栄養価への不安でした(69%)。半数の保護者が、毎日お弁当を作り、そのために朝6時までに起床する保護者が約5割。お弁当作りの所要時間は、7割の方が20分以上でした。お弁当を持参できない日に利用するのは、中学校で販売される弁当より、パン給食やコンビニ弁当の方が好まれ、この理由について、「一人で弁当を注文するのが嫌」と聞いたことがあります。また、朝食を毎日食べるかとの質問では、約2割が食べたり食べなかったりと答え、少数ですが、朝食も夕食も全く摂らない中学生がいました。

「中学校給食への提言書」を教育委員会に提出することを発表!!

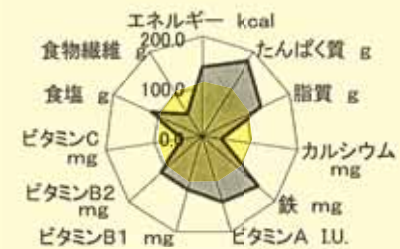


家庭弁当の栄養価



写真の家庭弁当は朝の忙しい時間の中きちんと手作りされており、お母さんの愛情が感じられるものばかりです。みんなの党神戸市会議員団は、独自で「家庭弁当」の栄養価について管理栄養士に依頼し、分析していただきました。さて、気になる栄養価は一体どうなっているのでしょうか？

分析結果

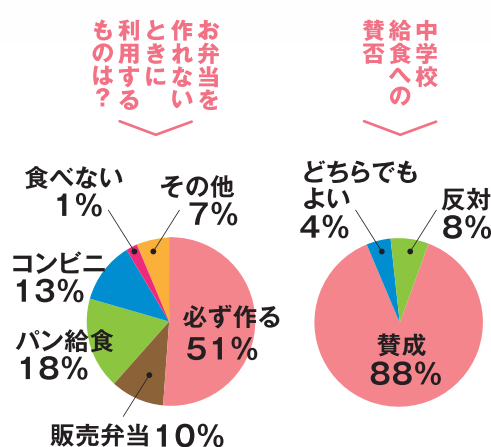


解説 30食を栄養分析した結果結果、全てにおいてたんぱく質、脂質、塩分、カロリーが多過ぎ、カルシウムや食物繊維が足りないという結果が出ました。

- エネルギー** 中学生の昼食のカロリーを850キロカロリーとしましたが、全食カロリーオーバーです。
- たんぱく質** 全食が基準量を超えていた。弁当の定番であるウインナー、ミートボールが原因です。
- 脂質** ウインナー、玉子焼きを作ると、必ず油を使うことが基準値オーバーの原因です。
- カルシウム** 中学生に必要な基準値420mgの50%しか摂取できていません。ミルク給食は必要なのです。
- 塩分** 中学生の塩分摂取基準量は3g/日。弁当一食だけで超えてしまっているのは、ご飯にふりかけをかけるからです。
- 食物繊維** 基準値の50%しか摂取できないのは、野菜をお弁当に入れにくいからではないでしょうか？

家庭弁当は、栄養バランスが偏るという保護者の意見は単なる推測ではなく、事実に基づいていると言えます

アンケート結果



販売弁当10%

「一人ですべての弁当を注文するのが嫌」と聞いたことがありますが、また、朝食を毎日食べるかとの質問では、約2割が食べたり食べなかったりと答え、少数ですが、朝食も夕食も全く摂らない中学生がいました。